

# 震災ホームレスに食事を

AMDAなど仙台に送る



救援物資をトラックに積み込むAMDAのスタッフら（岡山市北区で）

東日本大震災の被災地でホームレスになった人々を救おうと、国際医療NGO「AMDA（アムダ）」（本部・岡山市北区）などは14日、仙台市で炊き出しをしているNPO法人「仙台夜まわりグループ」に方

ツプ麺約1000食とカイロ約1200個を送った。AMDAによると、JR仙台駅周辺では数十人が生活。震災復興の土木作業で宮城県に来たものの雇い止めにあった人や、光熱費などを払えず、仮設住宅

を自主的に出た人らがいるという。日蓮宗一心寺（同市南区）の住職が実態を知り、AMDAに相談して今年1月に初めて物資を送った。今冬も同寺と生活協同組合「おかやま

コープ」（本部・同市北区）などが協力した。

1月に仙台を訪れた同寺副住職中島泰俊さん（50）は「寒い冬を乗り越えてもらえるよう、支援を続けたい」と話している。